

牛乳飲みっぱなしで3時間! 初のCM撮影に挑戦

知事がチームナックスの森崎博之さんと共に演した「モオ～ニングルーティングプロジェクト」のCM、皆さんはご覧になりましたか?コロナ禍で牛乳の消費拡大を推進するプロジェクトの一環で、年末年始には道民の皆さまのご協力のおかげで、生乳の廃棄を回避することができました。

ところで、このCMでは、いつもスーツ姿の鈴木知事が、Tシャツ・ジーンズというラフな服装だったため、本人だと気づかない人も結構多かったとか。初のCM撮影に臨んだ鈴木知事にその感想を聞きました。



Q.初のCM撮影はどうでしたか?

まず、スーツを着ていないことに緊張しました。お腹が出ていないかな、とか…。私服を着る機会がないのでジーンズを履くのも、たぶん3年ぶりくらいです。



Q.森崎さんと共に演されて、いかがでしたか?

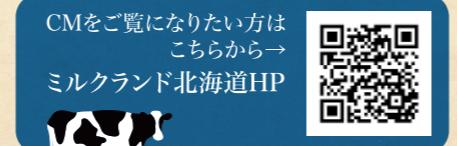
北海道のイベントでよくお会いしていましたが、撮影以外でも笑顔で、いろんな方を気遣ってくれるんです。私がセリフを囁んだときも「知事、かわいいですね」と周囲を笑わせてくれたり、本当にテレビで見るままの温かい方です。

Q.苦労したところはありますか?

撮影には3時間くらいかかったのですが、この牛乳の入ったグラスがだんだん重く感じてきて、最後には手がブルブルしました。

Q.牛乳はどれくらい飲みましたか?

飲むたびに注がれていたので正確にはわかりませんが、だいぶ飲みました。道庁では会議や来客時は牛乳を出すようにしているので、一日中牛乳を飲んでいました。今ではすっかり私も朝晩の牛乳が定番になりました。



後援会ニュース

コロナ禍でもつながろう!オンライン後援会

今回、急きょオンライン開催に手を挙げてくれたのは「実現する会・宗谷」。団結力が強み、との言葉通り、機材のセッティングもあつという間でした。



「実現する会」設立総会に鈴木知事が出席

地域への往来の自粛が緩和され、ようやく地域への訪問が叶うようになりました。実現する会の設立にご尽力いただいた皆さん、ありがとうございました。

●実現する会・滝川



「皆さんから鈴木知事の健康を気遣う優しいお言葉を頂きました」(事務局)

●実現する会・南幌



「お一人お一人と言葉を交わすことができた結果もうれしうございました」(事務局)



これからも知事と共に皆さんのもとへお伺いします。鈴木直道事務所 大崎・土井



毎日更新、
140文字で
いち早く情報を
お届けします



鈴木知事の
活動をじっくり
読みたい方は
こちらを!



北海道大好きな
鈴木知事の
日常を写真で
掲載しています



北海道大好きな
鈴木知事の
日常を写真で
掲載しています



鈴木直道レポート 5号
〒060-0032
札幌市中央区北2条東1丁目2-10
TEL.011-209-7070 FAX.011-209-7080
令和4年6月発行

鈴木直道 Report Vol.5

[活力あふれる北海道の未来を実現する会会報]
鈴木直道レポート 5号



ごあいさつ

こんにちは、鈴木直道です。

私が北海道知事に就任してから3年が経ち、早いもので任期最終年度を迎えました。

就任直後より2年以上にわたり、新型コロナウイルスとの闘いが続いておりますが、引き続き道民の皆さんに安心を取り戻すことを最優先に取り組んでいるところです。

コロナ禍という困難な時代ではありますが、北海道の価値をさらに磨き上げるために挑戦し続けてきました。困難な時代にこそ、新たな発想が生まれ、将来につながる変革が生まれます。道民の皆さんと手を取り合って、北海道のさらなる飛躍を目指してまいります。

これからも、皆さまのお力添えをいただきますようよろしくお願いいたします。

新たな北海道

「守りと攻め」で切り拓く



プロフィール

1981年生まれ。埼玉県出身(本籍は夕張市)。東京都府入庁後、働きながら法政大学法学部を卒業。2008年夕張市に職員派遣される。東京都府を退職し、2011年夕張市長に当選。2期8年務める。2019年北海道知事に当選

道民の命と暮らしを守る 感染症に強い安心安全な地域づくり

医療提供体制のさらなる充実、スムーズなワクチン接種の促進などコロナ対策に加えて、コロナ禍で影響を受け続けてきた方々への支援や、近年頻発している自然災害への備えなどが盛り込まれています。

北海道の強みを活かした 先進的な取り組みへの挑戦

ウイズコロナに向けた新しい北海道デジタル化、ゼロカーボン北海道など、新しい時代を目指す視点が盛り込まれています。

令和4年度の重点政策の詳細はこちらから





コロナ禍で再発見! 北海道さらなる飛躍のカギ

コロナ禍で生まれた新しいニーズやライフスタイルにいち早く対応することで、活力あふれる北海道へ転換。

1. 道産食品の販売

課題
どさんこプラザ
北海道物産の販売店

ブランド力の高さを
マーケティングに活用!

都道府県別 魅力度 1位 道民の愛着度 1位
アンテナショップ売上高 1位 (有楽町店・7億円超)
ふるさと納税額 1位 (個人・企業ともに2年連続)

鈴木道政における取り組み
どさんこプラザは情報発信拠点へ

情報を駆使した
物販ネットワークの構築

魅力ある商品を発掘、
企業と連携して販売
フェア売り上げは前年の約2倍!

ネット通販の充実で
巣ごもり需要をキャッチ
HANEDA お出迎えプロジェクト
どさんこプラザ羽田空港店
マーケティング情報を
活用したアプリ開発中

情報発信力の強化で
国内外への販路拡大へ

2. ワークーション

課題
コロナ禍で密を避けたい・
テレワークで移住希望という
新しいニーズに対応

コロナ禍での
需要をキャッチ

道外企業の移転数が急増 (増加数 全国 1位)
サテライトオフィス開設数 1位 (3年連続)

鈴木道政における
取り組み

日本一広い北海道、
働き方に合わせて選べるオフィス

魅力ある商品を発掘、
企業と連携して販売
フェア売り上げは前年の約2倍!

ネット通販の充実で
巣ごもり需要をキャッチ
HANEDA お出迎えプロジェクト
どさんこプラザ羽田空港店
マーケティング情報を
活用したアプリ開発中

人々との縁を結び、
ワークーション日本一へ

3. デジタル化

課題
広大な北海道は
地域課題への対応が
多岐にわたる

官と民が連携して
デジタル化を推進!

データセンター日本 1位 を目指す
ドローン技術の強みが最大限に活かせる

鈴木道政における
取り組み

デジタル化による
地域課題の解決

国内最大規模のデータ
センターの誘致を目指す
北海道・日本郵政株式会社及び楽天グループ株式会社による
包括連携協定の締結に関する共同記者会見
楽天グループ 三木谷社長
日本郵政 増田社長
北海道知事 鈴木直道

道が楽天・日本郵政と
連携協定
働き方改革にも一役
道職員による「スマート
道庁」で業務効率化
将来ビジョン
スマート農業、野生鳥獣対策、森林管理、
災害や大雪で孤立した地域への支援などに
ドローンを活用

地域課題を迅速に共有し、
地域活性化を後押し

鈴木道政から「はじめの一歩」

○ゼロカーボン北海道って何?

最近昔に比べて大きな気候の変化が話題になっています。北海道にも来るようになった台風や、かつてないほどの豪雪が、大きな被害をもたらしたことは記憶にも新しいところです。現在、世界では大きな気候変動をくいとめようと二酸化炭素を減らす取り組みが始まっています。日本では2021年に北海道がいち早く手を挙げ、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボン北海道」を宣言しました。再生可能エネルギーの宝庫である北海道だからこそできる取り組みを、日本の先陣を切って始めます。

※ゼロカーボン北海道の詳細はこちらから→
(道ゼロカーボン推進局HP)



第一步は行動と意識を変えよう

二酸化炭素排出量の削減に向けて、鈴木知事自身もプラごみの削減やエコバック・マイボトルの持ち歩きを実践し、道民一人一人にできることから変える意識を持ってもらうようSNSなどで積極的に発信しています。



エネルギーの地産地消を推進しています

北海道は太陽光などの再生可能エネルギーの潜在力が日本一。地域に合ったエネルギーを、地域で使うことができるよう、道が支援をしています。

地域電力会社の設立も加速されています



全国初! 鈴木道政で建設業のゼロカーボン推進

北海道・開発局・札幌市が連携し、建設業における脱炭素化を後押しています。新年度からゼロカーボンの取り組みを行った建設業者に対し、入札参加資格に関わる成績評定において加点評価する制度を導入しました。全国に先駆けて実現したので、今後も改善を重ねながらゼロカーボン北海道実現に向けた機運の醸成に努めます。



赤れんが庁舎の改修工事現場を視察